

プロロジス、スタートトゥデイ専用物流(BTS型)施設 「プロロジスパークつくば 1」の起工式を挙行

物流不動産の所有・運営・開発のリーディング・グローバル企業であるプロロジス(日本本社:東京都千代田区丸の内、代表取締役社長:山田御酒)は、本日、茨城県つくば市において、アパレル EC 大手の株式会社スタートトゥデイ(本社:千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長:前澤友作)の専用物流施設「プロロジスパークつくば 1」の起工式を執り行いました。

起工式には、株式会社スタートトゥデイ 大蔵 峰樹 取締役をはじめ関係者の方々、つくば市 毛塚 幹人 副市長をはじめ市関係者の方々、設計施行を担当する西松建設株式会社 近藤 晴貞 代表取締役社長をはじめ関係者の方、プロロジスからは代表取締役社長 山田御酒らが参列し、工事の無事と事業の発展を祈願しました。



「プロロジスパークつくば 1」完成イメージ

スタートトゥデイは、「プロロジスパークつくば 1」をフルフィルメント業務全般を行う物流施設として利用する予定で、同社が扱うアパレル商品の全国への配送拠点のひとつとなります。同社は、千葉県において「プロロジスパーク習志野 4」および「プロロジスパーク千葉ニュータウン」を利用するプロロジスのリピートカスタマーです。

■ 開発地

「プロロジスパークつくば 1」は、圏央道「つくば中央」IC から約 5 kmの地点に開発されます。北関東方面への配送に加えて、常磐道「谷田部」IC から約 10 kmに立地するため、都心方面および仙台方面へのアクセス利便性も高い立地です。本年 2 月には、圏央道「境古河」IC～「つくば中央」IC 間が開通し、都心部から放射状にのびる東名・中央・関越・東北・常磐・東関東の 6 つの自動車道が接続されました。これ

により、都心部を経由することなく東西広域および東日本全域をカバーすることが可能になり、広域戦略拠点としてのポテンシャルの高まりが期待されるエリアとなっています。

開発地周辺には住宅地や大学・研究機関が立地し、働く世代の人口が多く、雇用確保にも有利な環境です。また、つくばエクスプレス線「研究学園」駅より約 1.9 kmと近く、通勤利便性も高いエリアです。

■ 施設計画概要

「プロロジスパークつくば 1」は、4 階建て延床面積約 70,000 m²の物流施設として開発されます。1 階および 3 階にトラックバースを設け、スロープで大型車両が 3 階にアクセス可能な設計とします。敷地内には、自動車通勤を想定し約 220 台分の駐車場を設けます。

また、快適な作業環境のため、館内は倉庫内を含めて全館空調を導入し、全館 LED 照明を採用するなど環境負荷軽減にも配慮します。

「プロロジスパークつくば 1」計画概要

名 称	プロロジスパークつくば 1
開 発 地	茨城県つくば市東光台
敷 地 面 積	32,807.22 m ² (9,924.16 坪)
計 画 延 床 面 積	70,355.53 m ² (21,282.54 坪)
構 造	地上 4 階建、鉄骨造
着 工	2017 年 8 月
竣 工 予 定	2018 年 9 月末

■ 圏央道マーケットのプロロジスパーク

プロロジスは、圏央道の延伸を見据え、埼玉県にマルチテナント型物流施設の「プロロジスパーク川島」「プロロジスパーク川島 2」「プロロジスパーク北本」「プロロジスパーク吉見」「プロロジスパーク東松山」(2018 年 2 月竣工予定)、BTS 型施設 3 棟からなる茨城県の「プロロジスパーク古河」と、新たな物流適地にいち早く施設を開発してまいりました。「プロロジスパークつくば」についても、本年 3 月の「境古河」IC～「つくば中央」IC 間の開通に合わせた新たな好適地として開発を計画していました。茨城県内では、「プロロジスパーク常総」、「プロロジスーク古河」に次ぐ開発です。

■ プロロジスの専用物流(BTS 型)施設

プロロジスは、これまでに「プロロジスパークつくば 1」を含め、全国に 36 棟の BTS 型施設を開発してきました。また、「プロロジスパーク海老名 2」「プロロジスパーク神戸 3」「プロロジスパーク神戸 4」などの BTS 型施設の開発を計画中であり、入居企業を募集しています。

プロロジスは、今後もお客様の物流効率化のニーズにお応えすべく、物流施設の開発・運営を進めてまいります。

本プレスリリースに関するお問い合わせ先
プロロジス 広報室 担当:古川
TEL:03-6860-9107 / FAX:03-6860-9020
E-mail:sfurukawa @prologis.co.jp